

道徳科学習指導案

- 1 日時 令和元年 10 月 11 日（金） 第 3 校時（10:40～11:25）
- 2 学年 第 1 学年 12 名（男子 4 名，女子 8 名 合計 12 名）
- 3 主題名 「郷土に親しむ」（内容項目 C（15）伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度）
- 4 ねらい くすのき公園に集まる人々の気持ちを考えることを通して，町には人々が愛する大切な場所があることに気付き，自分たちの町の好きな場所やそのよさを見付け，それらを大切にしていこうとする道徳的心情を養う。
- 5 教材名 「目じるしの木」 出典（小学生のどうとく 1：廣済堂あかつき）

6 主題設定の理由

- 本主題は，内容項目 C（15）「我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつこと。」を基に設定したものである。

自分の生まれ育った郷土は，その後の人生を送る上で，心のよりどころや精神的支えとなるなど，大きな役割を果たすものである。郷土を愛し，大切にすることを育むことは，自らの人生や心を豊かにしていく上で大切である。また，その郷土を愛する心は，国への親しみへと視野を広げ，国や郷土をよりよくしていこうとする態度に繋がる。そして，主体的に生きることが求められる今の社会では，自分の環境，そして人生を，自分たちの力で豊かにすることが求められる。

低学年の段階においては，地域の行事に参加することなどを通して，家庭や学校を取り巻く郷土に目が向けられるようになる。しかし，子供たちにとっては，今いる環境が当たり前であり，改めて郷土の特徴やよさを意識することはあまりないと考えられる。そこで，自分たちの郷土に改めて目を向けさせることで，自分たちの住む郷土には人々に愛される場所や，先人から守り，受け継がれてきた文化がたくさんあることに気付き，そのよさや大切さを理解し，郷土を愛し，大切にしていこうとする心情を育てたいと考え，本主題を設定した。

- 本学級の児童（男子 4 名，女子 8 名）は，ほとんどの児童が生まれた時からこの町で育ち，高野の土地について色々知っている。事前に行った意識調査の結果は次の通りである。（実施 12 名 7 月 19 日）

質問項目	肯定的回答		否定的回答	
	◎当てはまる	○やや当てはまる	△あまり当てはまらない	×当てはまらない
①高野の町が好きですか。	84%（10 人）	0%（0 人）	8%（1 人）	8%（1 人）
②どうしてですか。 （複数回答可）	・友達や家族がいる。 ・みんな仲良し。 ・空気がおいしい。 ・広くて，風が気持ちいい。 ・学校がある。 ・道の駅がある。		・おばあちゃんちがある地域の方が好き。 ・雪が降る。	
③高野のいいところはどこだと思えますか。（複数回答可）	・友達や家族がいて，遊べる場所。 ・みんながやさしい場所。 ・食べ物がおいしい場所。（お米，野菜，大根，りんご） ・町がきれいで，空気がおいしい場所。 ・雪が降る場所。 ・学校で勉強できる場所。 ・道の駅がある場所。 ・はしなかやがある場所。			

この結果から、多くの児童が高野に愛着をもっており、高野のよさを色々な点で感じていることが分かる。しかし、回答では、友達や家族などの「人」に注目したものや、空気や景観のきれいさなど「環境」に注目したものが多く、「場所」については、あまり出てこなかった。そこで、今回は「場所」に注目させ、どんな町でもみんなが愛し、大切にしている場所があることに気付かせたい。そして、自分たちの住んでいる高野にもみんなに愛される自慢の場所がたくさんあることや、そこが自慢できる理由について考えさせることで、高野のよさを感じ、それらを大切にしていこうとする気持ちに繋げたい。

- 本教材は、町を目じるしである大きな木が立つくすのき公園のお祭りに参加した「ぼく」が、お祭りの後に町の人々と一緒に公園を掃除することを通して、自分を含めた町の人々は、この公園が大好きであることを改めて感じるという内容である。この内容は、児童たちの生活の中の場所にも置き換えられる事柄であり、児童の身近な内容に繋げることができる教材であり、次のように指導する。

導入では、本時の内容に関わるテーマ「町にある場所」を示し、学習の見通しをもたせる。

展開では、まず、毎年行われるくすのき公園のお祭りに参加する時の「ぼく」や人々の気持ちを考えさせる。楽しいのはお店がたくさんあるからだけでなく、そこにみんなが集まるからでもあるという、人の要素も含まれることを捉えることができるようにする。また、中心発問の前に「ぼく」が家では掃除が好きではないという部分を押さえ、その気持ちに共感させることで、それなのになぜ、ぼくや町の人々は掃除を頑張るのかという中心発問を考えたいという気持ちに繋げる。

中心発問では、「ぼく」や町の人々がくすのき公園の掃除を頑張る理由を考えさせ、大好きな場所であるくすのき公園を大切にしたいという気持ちを、町の人一人一人がもっていることに気付かせていく。その際、多面的・多角的に考えさせる補助発問などを複数準備し、児童の反応に応じて投げかけることで、対話を通して児童の思考や認識を深めていく。その後、高野町の自慢の場所を児童に想起させることで、自分たちにも教材の内容と同じように、好きで大切にしたい場所が色々あることや、それらの場所で色々な人との関わりが生まれていることに気付かせる。その際、高野町の場所の写真を複数用意しておくことで、児童の思考を促すことができるようにする。

振り返りでは、学習を通して新たに気付いたことや友達の意見を聞いて心に残ったことなどを書かせ、学びを深めさせていく。

7 大会主題【ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成～へき地・複式・小規模校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～】との関連

高野町は、地域の自然や特色を生かした事業や産業が行われており、人と人とのつながりが強く、とても温かい風土のある町である。そんな環境や風土を生かして、授業では高野には町ならではの魅力的な場所がたくさんあることに気付かせ、郷土に目を向け、高野の町について愛着を持つ児童を育成する。

8 研究主題【主体的・対話的に学びを深める児童生徒の育成～道徳科における児童の思考を促す発問の工夫を通して～】との関連

中心発問	補助発問	
どうして「ぼく」や町の人々は、くすのき公園のそうじを頑張るのでしょうか。	○ 町の人々にとって、くすのき公園はどんな場所でしょう。	【多面的・多角的に考えさせる】
	○ くすのき公園に行くと、どんないいことがありますか。	【多面的・多角的に考えさせる】

9 準備物

事前アンケートの結果、教材場面絵、ワークシート、高野の場所の写真

10 学習の流れ

	学習活動	主な発問と児童の心の動き (主な発問(○) 中心発問(◎) 予想される児童の反応(・))	指導上の留意事項と評価 (留意事項(◇)評価(・)(評価方法))
導入	1 本時の学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のテーマを示す。「町にある場所」 ○ 町の人たちが、その場所にどんな思いをもっているのか、考えながら読みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ くすのきの写真を見せ、教材のイメージをもたせる。 ◇ テーマを示し、学習の見通しをもたせる。
展開	<p>2 教材を読んで話し合う。</p> <p>① くすのき公園で行われるお祭りへの気持ちを考える</p> <p>② 「ぼく」や町の人々が公園の掃除を頑張る理由を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年あるくすのき公園のお祭りに、「ぼく」や人々はどんな気持ちで行っているでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・お店がいっぱいあって、楽しい。 ・人がいっぱい来て、楽しい。 ・この日を楽しみにしていた。 ◎ どうして「ぼく」や町のみんなは、くすのき公園のそうじを頑張るのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・公園が汚くなるから。 ・そうじしないと、もうお祭りをしたり遊んだりできなくなるから。 ・きれいになると、気持ちがいいから。 ・みんながいると、楽しいから。 ・きれいになると、みんながにこにこするから。 ・自分たちが出したごみだから。 ・みんなの公園だから。 ・くすのき公園は、大切な場所だから。 <p>【補】 町のみんなにとって、くすのき公園はどんな場所なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大好きな場所。 ・大切な場所。 ・宝物の場所。 <p>【補】 くすのき公園に行くと、どんないいことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りがある。 ・みんなで掃除して楽しい。 ・風が気持ちいい。 ・色んな人と話ができる。 ・みんなに会える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ くすのき公園でのお祭りは、町みんながとても楽しみにしていることを押さえる。 <p style="text-align: right;">教材との対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 普段は掃除が嫌だと思ふ気持ちに触れることで、それなのになぜみんな頑張るのかと、中心発問を考えたい気持ちに繋げる。 ◇ ワークシートを活用し、自分の考えを明らかにさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ その場所が好きな思いや、その場所を大切にしたいという思いに気付いている。 <p>(ワークシート・発言)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【多面的・多角的に考えさせる】 町の人たちがくすのき公園を大切に思う気持ちに気付かせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【多面的・多角的に考えさせる】 場所そのものの良さに加え、そこでできる体験や集まる人の存在が良さに繋がっていることに気付かせる。</p> </div>

	<p>3 自分たちの町の自慢の場所を見つけ、そのよさを考える。</p>	<p>○ 教師の説話を聞く。</p> <p>○ 高野町にも、みんなが集まり、みんなに愛されている場所がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅 ・はしなかや ・とまり ・かっぱ公園 ・学校 ・プール ・お寺 ・福祉センター ・自治振興センター <p>(そこに行くときどんないいことがあるか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしいものが売っていて、食べられる。 ・お祭りがある。 ・他の町の人もたくさん来てにぎやか。 ・みんなで遊べる。 ・他な学年の人とも遊べる。 ・やさしい友達がいる。 	<p>◇ 教師が自分の郷土の自慢の場所を紹介することで、郷土が違って好きな場所はみんなあることに気付かせ、自分たちも見付けたいという意欲に繋げる。</p> <p>◇ ペアトークを通して、色々な場所を考えることができるようにする。</p> <p style="text-align: center;">子供同士の対話</p> <p>◇ 高野にある色々な場所に目を向けさせ、対話する中で、そこでの人々との繋がりや関わりについても気付くことができるようにする。</p> <p>◇ 写真を提示し、児童が気付いた場所以外にも、いろいろと親しみのある場所があることに気付かせる。</p>
<p>振り返り</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ 今日、勉強になったことや、友達のことを聞いて思ったことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高野は、楽しいことができたり、みんなと集まったりできる自慢の場所がたくさんあっていいなと思った。 ・高野にはいい場所がたくさんあるので、大切にしていきたいなと思った。 	<p>◇ ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について新たに発見したことなど自分の考えをまとめさせる。</p> <p style="text-align: center;">自己との対話</p>

11 板書計画

場面絵③
くすのきの下にいるぼく

- ・楽しいお祭り
- ・みんなでそうじして楽しい
- ・気持ちいい風
- ・みんな人と話せる
- ・みんなに会える

みんながにこにこ

大切な場所。
大好きな場所。
宝物の場所。
思い出の場所。

・公園が汚くなる。
・祭り・遊びができなくなる。
・きれいになると気持ちいい。
・自分たちの出したごみ。
・みんなの公園だから。
・大切な公園だから。

場面絵②
頑張る
掃除をやる
ぼくや町の人々

高野の
写真

高野の
写真

高野の
写真

高野の
写真

どうして 「ぼく」や まちのみんなは、
くすのきこうえんの そうじを がんばるのでしょうか。

場面絵①
お祭りに行く
ぼく

目じるしの木

なっにおまつり

大ぜいの人

こうえんが
小さな町みたい

・楽しい ↓ おみせがいつぱい
人がいつぱい
・この日を楽しみにしていた。

みんなあつまる

手わけしてそうじ

ぼくも がんばる

↓いえでは すきじゃない

おじいちゃん・おばあちゃん
小さな子ども

くすのきこうえん

すき
の写真

12 ワークシート



○ きょうのがくしゅうで まなんだことやかんがえたことを
かきましょう。



目じるしの木

なまえ ()

○ どうして、「ぼく」やまちのみんなは、くすのきこうえん
のそうじを がんばるのでしょうか。



13 教材分析

	子供の思考の流れ	主	対
導入 課題設定がある場合も (学習の構えをもつ)	・町の人はどこにどんな思いをもっているのかな。	○	
教材を知る (登場人物の状況と心情)	・どうして家の掃除があまり好きじゃないぼくや小さい子まで、公園の掃除を頑張るのだろう。	○	
問題場面の確認 ：課題意識を持つ (課題の焦点化) ◎ どうして「ぼく」や町人は、くすのき公園のそうじを頑張るのでしょうか。 分		○	
個としての考えをもつ (登場人物への自我関与) ※ワークシートへの記入	・公園が汚くなるから。 ・きれいになると、気持ちがいいから。 ・きれいになると、みんながにこにこするから。	●	
他者の考えとの出会い (自分の考えとの共通点と相違点) ※意見の交流	・そうじしないと、もうお祭りをしたり遊んだりできなくなるから。 ・みんなの公園だから。 ・くすのき公園は、大切な場所だから。		●
よりよい生き方に向けた議論 (多面的・多角的視点の獲得) 【補】 町の人にとって、くすのき公園はどんな場所なのでしょう。 【補】 くすのき公園に行くと、どんないいことがありますか。	・大好きな場所。 ・大切な場所。 ・宝物の場所。 ・楽しいお祭りがある。 ・みんなで掃除して楽しい。 ・みんなと会える。		●
学習としてのゴール (課題の解決) ○ 高野町にも、みんなが集まり、みんなに愛されている場所がありますか。 投	・道の駅 ・かっぱ公園 ・学校 (理由) ・おいしいものが売っている。 ・他の町の人もたくさんくる。 ・みんなで遊べる。		●
子供が自分の言葉で価値を再定義する (新たな自己の生き方への思い)	・高野には、みんなが笑顔になれる場所がたくさんある。 ・すてきな場所がたくさんあることも、高野のいいところ。	●	
終末 (新たな学びをじっくりと受け止める) ※振り返り	・高野は、自慢できる場所がたくさんあっていいな。 ・高野にはいい場所がたくさんあるので、大切にしていきたい。	○	

<発問の立ち位置・4区分> (東京学芸大学 永田繁雄教授)

共：「共感的」な発問, **分**：「分析的」な発問, **投**：「投影的」な発問, **批**：「批判的」な発問